FUYO LEASE GROUP

2021年4月7日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長　辻田　泰徳
東京都千代田区麹町5-1-1

株式会社3D Printing Corporationとの資本業務協定締結のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長　辻田泰徳、以下「芙蓉リース」)は、株式会社3D Printing Corporation（神奈川県横浜市、代表取締役　デヴォア・アレキサンダー、以下「3DPC」)が実施する第三者割当増資を引き受け、資本業務協定を締結しました。

3DPCは、3Dプリント技術を活用した様々なプロダクト・サービスを提供し、次世代のサプライチェーン構築を目指すベンチャー企業です。3Dプリントは、従来の製造手法では実現できなかった高機能な製品製造を可能にし、加えて、必要な時に 必要な場所で 多品種のものを 短納期で製造できるなどの特徴を有していることから、製造業において3Dプリンターの利活用が着実に進んでおります。

そのなかで3DPCは、3Dプリンターの選定・販売のみならず、「DFAM（AM※専用の設計手法）ソリューションズ＆コンサルティング」「製造システムの開発・販売」「製造環境の構築と改善サービス」など、総合的なソリューションをワンストップで提供できる優位性を有しております。また、多種多様な業界の先進企業と共同で、3Dプリント技術活用に関する技術開発や実証実験を行っており、国内における3Dプリントの普及促進に貢献しています。

※Additive Manufacturing ：従来の製造方法と異なり、材料を積み重ねて製品を造形する製造方法

芙蓉リースグループは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、新しい技術やサービスを開発する複数のスタートアップ企業と資本業務提携を行い、協業することで、従来の枠組みを超えた新たな事業領域を拡大しています。

今回の資本業務協定を通じ、3DPCと共に3Dプリンターを活用した製造手段の提供（サービス化）や3Dプリンターのシェアリングなどの商品開発を進めて参ります。そして、新型コロナウイルスの感染拡大によって顕在化したサプライチェーンの脆弱性など、芙蓉リースグループの顧客が抱える“ものづくり”の課題に対し、3Dプリント技術を活用した付加価値の高いソリューションを提供し、新しいサプライチェーンの構築をサポートすることで、日本の“ものづくり”の強化・発展に貢献していきたいと考えています。

芙蓉リースグループは、新たな事業領域の拡大により、社会課題の解決に積極的に関与し、同時に企業としての成長を目指すCSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の考えを実践し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）木村・渡邊
電話番号　０３（５２７５）８８９１　　ＵＲＬ　https://www.fgl.co.jp/